

よっ葉だより

2022年
8月8日号
No.709

◆新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金◆



栃木県 860
群馬県 861
茨城県 862



がんばって植えました！かみのかわ 田植え 6月28日(土)



栃木県上三川町の民間稲作研究所の有機の田んぼで、田植えと生きもの探しをしました。総勢50名での田植え、品種は「羽二重もち」です。民間稲作研究所は、全国で唯一、有機米の種子を生産し、全国の有機農家に販売しています。研究所理事長の館野廣幸さんは「有機栽培で稲作をする技術が必要とされていて、全国から技術を教えて欲しいという要望が届くようになりました。」とおっしゃっていました。田植を指導してくださったのは川俣さん、浦田さん、田村さんです。猛暑の中、長い田んぼでタイミングを合わせるのはひと苦労でしたが、1時間ほどで終わりました。

農薬や化学肥料を使わない貴重な有機栽培の田んぼ。水路や畔には生きものがいっぱい！サリガニ、アメンボ、ヤゴなど、さまざまな生きものが暮らしていました。子どもたちは、バケツと網を手に生きもの探いに夢中でした。

参加した組合員さんの声

- 農業体験は、子供の感覚が敏感なうちに沢山経験させたいと思っています。土の感触や稲のにおい、水の温度など全身で感じて欲しいと思い、参加しました。(A.Kさん)
- 以前参加したときに、親子共に楽しめて再開を待っていました。田んぼに入るのも、ここでしか経験できないので嬉しい体験です。虫取りも子供の気のすむまで(のんびり、ゆっくり)させて頂けて嬉しいです。(H.Kさん)



たくさん収穫しました！かぼちゃのリ収穫 7月21日(木)



茨城県石岡市の朝日里山ファームで、里山学校の柴山さんのご指導のもと、ベテラン農家さんの鈴木さん、研修生の渡辺さん、竹内さん、小林さんと一緒に収穫しました。品種は「くりじまん」。かぼちゃは夏の強い日差しから守るためひとつずつ新聞紙で覆われ、まんべんなく色づくように「ざぶとん」が敷いてありました。森のように茂った葉っぱの間からかぼちゃを探すのは、宝探しのようでした。

収穫後の農家さんとの交流では、就農のきっかけや、農薬を使わない工夫を聞きました。有機部会に入って22年の鈴木さんは「入った当時は有機農家は変人扱いだったよ」とのこと。今では、国際的にも価値が認められていますね。柴山さんによると、よっ葉生協のやさと農業体験は、2007年いばらきよっ葉の時代から始まったそうです。発足25年、JAやさと有機部会は30人にもなり、よっ葉生協にとってなくてはならないパートナーです。有機農業は、国が「みどりの食料システム戦略」で後押ししており、これからますます必要とされます。

有機栽培を広げ、支えてきた人々と火田の力強さを感じる農業体験になりました。

理事長 三輪

『実りもリスクも分けあう』産地と生協の付き合いをこれからも

7月21日、フルーツいしいの今年の状況を確認してきました。
 訪問した朝は空気が冷たく、石井さんは『寒かっただろう(笑)』と。会津盆地の日中と朝晩の気温差を体感。7月1週からすもも(大石早生)が始まり2週目のソルダム。今回ソルダムのお届けができず、楽しみにしてくれていた方々、大変申し訳ありませんでした。お伺いしてみたところ、6月の高温で生育が進むと思いきや、スモモは自衛の為か生育が止まってしまうとのことでした。また来年に期待です。今年の桃は色つく時期に雨が降らず、早生品種から甘くなりスタートは良かったとのこと。早生品種はギフトの品としてお届けいたしました。以降の品種も例年通りの生育状況で期待できそうです。

収穫期が年に一度の果樹生産者にとって、ネオニコチノイド農薬を使わず果樹栽培をすることは本当に難しく覚悟がいます。安心・安全な食べ物を届けることが、いかに大事で時に難しいことを理解してくれている組合員さんに届ける。生協にしかできない取り組みだ。と、石井さんは言ってくれました。産地の思いを今後も皆様に伝えていけるようにしていきたいと思います。



「中央に写っているのが石井代表です。
8月4週からの表紙は4代目息子さんです。」

そんな、いしいさんの桃

ご注文週によって届く品種が変わります。カレンダーを参考に福島に思いをはせて楽しんで食べていただければ幸いです。

(商品部 農産担当 間中)



保存版

フルーツいしいの桃カレンダー(8月下旬以降)

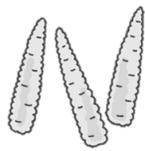
今後お届けが予想される桃になります

収穫時期			品種	果皮	果肉	特徴
8月中・下旬	☆	○	ライト光黄	黄	橙黄	果肉は橙黄色で紅色が点状に中程度入る、珍しい色の桃です。
			まどか	赤	白	あかつき・川中島白桃の良い所どりの桃です。果肉は硬く風味があり、香り高い桃です。
		○	まさひめ	赤	白	甘みが強くジューシーでとろけるような食感になる桃です。古くからの品種で生産者が少ないです。
8月下旬・9月上旬		○	おどろき	赤	乳白	”おどろく”ほど固い桃。日持ちが良く、とにかく固い桃が好きという方におススメです。
	☆		紅錦香	赤	白	桃には珍しく、受粉がうまくいかないと仕上がらない桃で、生産者が少なく市場に出回らない品種です。
	☆	○	黄金桃	黄・赤	淡黄	鮮やかな黄色の果肉でギフト桃として人気です。甘みが強く濃厚で極上の香りがします。
9月上旬		○	川中島白桃	赤	白	全国的に有名な品種で、やや弾力があり、甘みが強く、果汁が多い美味しい桃です。
		○	つきかがみ	黄・赤	黄	甘みが強く、とろけるような食感です。黄桃ですが、無袋で仕上げる為他の黄桃にはない特有の甘み。
	☆		あぶくま	赤	白	大玉で果肉の色がきれいな桃です。果汁が多く甘みが強い為、味が濃く感じられます。
9月上・中旬			かぐや	赤	白	果肉はやや硬く食べやすい桃です。「あかつき」が好きな方にはおススメです。
			早さくら	赤	白	甘みが強く、硬い桃が好きの方におススメです。
	☆	○	黄貴姫	黄	淡黄	収穫直後3~5日後に甘みが強くなる桃です。一つ一つ袋掛けし、黄色の美しい外観に仕上げます。
9月中・下旬		○	ありがとう	赤	白	「いけだ」に似たすっきりと切れのある甘さが。甘みが強く旨味があり、香りのある食感が極めて良い桃。
			だて白桃	赤	白	ジューシーで甘みが強く、食べ応えのある桃。食味のブレが少なく贈り物や家庭用どちらもおススメです。
		○	玉うさぎ	赤	白	やや硬めで甘みが強く、食べ応えのある桃。9月前半を代表する桃。やや硬めが好きの方におススメです。
9月中・下旬	☆		甘甘さんさん	白	白	とても珍しい外観が白い桃です。袋掛けして仕上げます。果汁がすこぶる多く、甘みの強い桃です。
	☆		さくら	紅・乳	白	甘みが強く硬い桃が好きの方におススメです。9月を代表する桃。袋掛けして仕上げます。
			まるみ白桃	赤	白	9月後半の桃で、ジューシーで甘い桃です。古い品種の為、生産者がほとんどいません。
9月下旬・10月上旬	☆	○	黄ららのきわみ	黄	黄	「川中島白桃」×「ゆうぞら」から偶然できた桃。袋掛けをするとき綺麗な黄色の外観に仕上がります。
	☆		白根白桃	紅・乳	白	新潟県の一部で栽培されている桃で、ジューシーな甘みが特徴です。生産者が増えず希少な桃。
	☆	○	西王母	赤	白	大玉サイズになりやすい品種で、硬め。10月の桃として大変人気のある桃です。
9月下旬・10月上旬・中旬	☆		桃水	赤	白	10月の桃として登場した品種。やや硬めで甘さが強いのが特徴です。
	☆	○	光月	黄	黄	硬く、甘みが強く、収穫後7日ほどでマンゴーのような風味になる桃です。
	☆		シーエックス	赤	白	実は硬く、日持ちが極めて良く、10月の気候だと2週間持ちます。当園シーズン最後の桃です。
	☆		西尾ゴールド	黄	黄	実は硬く、日持ちが極めて良い黄色の美しい桃です。追熟するとさらによくなります。当園最後の桃です。

☆・・・栽培に手間がかかる希少品種になります。数が限られます。

○・・・昨年お届けさせていただいた品種になります。

産直委員会発



レインボーフューチャー産地見学



6月28日、とうもろこし・有機ミックスリーフレタス・有機ベビーリーフなどを提供してくださっている、茨城県筑西市のレインボーフューチャーさんを訪問してきました。農薬や化学肥料を使用しないで自然農法で美味しい野菜作りを目指す、北海道から沖縄までの生産者グループをまとめている会社です。

照りつける日差しの中の作業はどれほど過酷か、と想像していましたが、大和田社長の表情はとても穏やかでした。今旬を迎えているとうもろこしについて、鮮度を保つために工夫していること、畝ごとではなく、一本一本完熟一歩手前を見極めながら収穫していることなどを生き生きとした表情で教えて頂きました。効率を考えることももちろん必要ではあるけれど、なによりも美味しく安全な野菜を届けたい、その気持ちが伝わってきました。



摘果したヤングコーン

畑の土の不思議な世界。肥料はなるべく使わず、とうもろこしの茎を裁断し、乾燥してから畑に漉き込む。手間はかかるが畑のために多種多様な野菜をたくさん作り続ける。「毎年毎年、土に教えてもらっているよ」と微笑む大和田社長。研究熱心で謙虚な姿勢を尊敬しました。

畑で摘果したヤングコーンをそのままいただきました。おそろおそろ齧ったところ、口の中に広がる甘さと少しの酸味に驚きました。芯まで柔らかく、更に驚くことにヒゲの部分まで美味しく食べられました。

土に、自然に感謝しながら育てられた美味しい野菜、これからもよつ葉で入手できることをとてもありがたく思いました。



パワフルな大和田社長

(産直委員 齋藤清美)

報告◇心穏やかにパステルアートを描こう ◇7月11日(月) 小山市

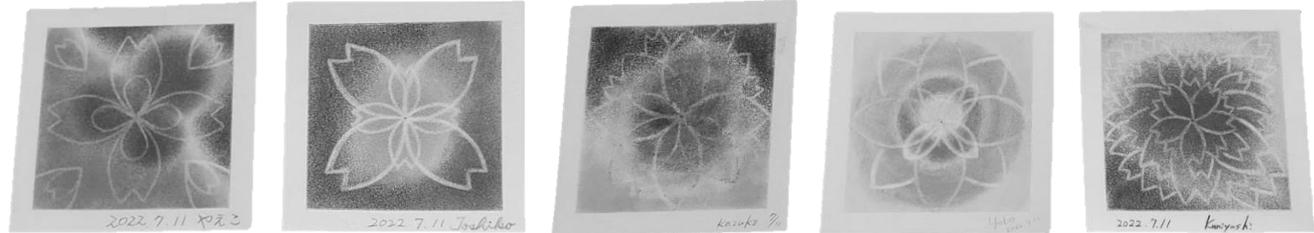
小山委員会所属の津吹さんを講師に、汗ばむような快晴の日に開催しました。好きな色のパステルを削る→その粉を指につけてクルクルと紙に自由に色を付ける→型を使って消しゴムで色を消す、という方法で線を引くと、参加者それぞれのマンダラ（紙の中心点から放射線状に広がる形）アートができました。指からの優しい感触と無心になれる時間、心安らぐ色、暑い日でしたがタイトル通り心が穏やかになる空間でした。



- 参加者の皆さんの感想を一部抜粋します。
- ・絵を描くのは苦手ですが、指でできたので楽しかったです
 - ・無心になりました
 - ・短時間でステキな作品ができて達成感と充足感が味わえ、癒しの時間でした
 - ・楽しい時間を過ごせました
 - ・こんな素敵な作品ができることにビックリしました

定員数に対したくさんのご応募をいただき抽選となったため、9/26(月)に第2回を予定しています。今回残念ながら落選となってしまった方、また新たに興味が出てきた方、ぜひご応募ください。皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

※「マンダラ」とは…サンスクリット語に由来する、
マンダ=円、聖なる中心 ラ=区切る という説
マンダ=本質 ラ=そなえるもの という説 があるそうです。



「色とりどりのパステル」

(小山委員会 篠原)

第2回 定例理事会報告 7月13日(水)

《報告・協議事項》

(1) 「高校生一人署名」活動の取り組みについて

「高校生一人署名」とは、2001年から長崎を中心に全国規模で行われている署名活動です。

署名用紙は国連本部へ永久保存されます。昨年までで226万筆の署名が国連の軍縮局に届けられています。また、昨年も友好生協のあいコープふくしまと一緒に署名活動を取り組みました。

今年もコロナ禍で国連の訪問は微妙な状況ですが、「高校生一人署名」は継続して取り組みます。

期間は7月25日(月)～8月19日(金)までとなります。

(2) 6月度 組合員活動会議報告

① 6月、7月度の農業体験経過報告

② 組合員交流会

- 1) 昨年度好評だった「えみさんちのオンラインお料理教室」を11月に開催予定です。
- 2) 地域集会(仮名)を(飲食を伴わず食の安全に関する学習会)を3回開催予定です。

③ 各委員会からの報告

行事でのコロナ対策確認、飲食無し、託児は当分設けない。

(3) サークル活動について

- ① 森のがっこう・ひめこぶし【2020年から休止していましたが解散となりました。】
- ② 大地っ子【サークル立上げ】(活動場所：坂東市内、目的：親子が集い、食にまつわる活動)

(4) 東海第二原発の再稼働について

友好生協である「常総生協」が取り組んでいる『東海第二原発 いらない！首都圏ネットワーク』に賛同団体として登録しました。

●6月度事業実績

組合員数	26,698名 (5月20日現在 前年比100.8%)
	加入199名 脱会103名
供給高	362,623千円 (前年比97.7%)
	2022年4月～累計1,111,215千円 (前年比100.3%)

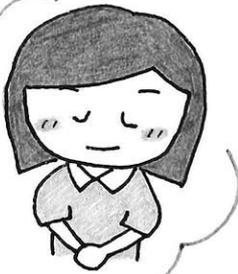
組合員さんの声

毎日スムーズに暮らせているとそれがついつい当たり前になってしまいますが、平和を原う人たち、私たちの生活が豊かになるように重かいてくださった方々の努力の上にあるとつくづく感じる。プラやゴミの廃棄の仕方が大きな課題になっている、プラは石油から出来ているのだからプラの再利用をどうしているのか気になる場所です。平和も私たち一人一人の力は小さいけど、身近な人にやさしくしていくこと、これが身近な平和だと思います。そしてウクライナには、早く良くなるよう祈り続けたいですね。

(館林地区 S.Fさん)

休干りのお知らせ

よつ葉だより 8月22日号は印刷会社さんお盆休みのためお休みとなります。よろしくお祈りいたします。



ご意見・ご感想をお寄せください。お名前と組合員番号をご記入の上、共同購入注文書またはお手紙でお願いします。掲載の方には粗品をプレゼントいたします。※掲載するにあたって事前ご連絡をすることはありませんので、ご了承ください。

新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金報告 (7月4週分)

ご協力ありがとうございます。

組合員さんの助けあいの気持ちが広がっています (単位：円)

栃木コロナ支えあい基金 (860番)	5,100
群馬コロナウイルス対策募金 (861番)	2,700
茨城誰かのために募金 (862番)	2,500
合計	10,300

共同購入注文書の該当番号に数量をご記入ください。

WEB注文の場合は、左側「企画商品・募金」内の「募金関連」をクリック。一口100円の募金になります。

東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告 (7月4週分)

ご協力ありがとうございます。

組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています (単位：円)

放射能から子どもを守る募金 (900番)	5,900
震災孤児を支援する募金 (910番)	17,000
「有機農業と国産種子」募金 (920番)	6,200
合計	29,100

共同購入注文書裏の「10品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。

WEB注文の場合は、左側「企画商品・募金」内の「募金関連」をクリック。一口100円の募金になります。

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮1223

☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101

HP <https://yotsubacoop.jp/> メールアドレスが変わりました。

よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yotsuba-coop.jp



ホームページ



Facebook



Instagram

よつ葉太陽光発電報告

○2022年5月27日から6月27日(32日間)の太陽光発電量は、19,235kWhでした。CO2削減量は6,049kg(18Lの灯油缶を255本燃焼した量)です。